

28日 水曜

テサロニケⅡ

1:1 パウロ、シルワノ、テモテから、私たちの父なる神と主イエス・キリストにあるテサロニケ人の教会へ。

1:2 私たちの父なる神と主イエス・キリストから、恵みと平安があなたがたにありますように。

1:3 兄弟たち。あなたがたについて、私たちはいつも神に感謝しなければなりません。それは当然のことです。あなたがたの信仰が大いに成長し、あなたがたすべての間で、一人ひとりの互いに対する愛が増し加わっているからです。

1:4 ですから私たち自身、神の諸教会の間であなたがたを誇りに思っています。あなたがたはあらゆる迫害と苦難に耐えながら、忍耐と信仰を保っています。

1:5 それは、あなたがたを神の国にふさわしいものと認める、神の正しいさばきがあることの証拠です。あなたがたが苦しみを受けているのは、この神の国のためです。

1:6 神にとって正しいこととは、あなたがたを苦しめる者には、報いとして苦しみを与え、

1:7 苦しめられているあなたがたには、私たちとともに、報いとして安息を与えることです。このことは、主イエスが、燃える炎の中に、力ある御使いたちとともに天から現れるときに起こります。

1:8 主は、神を知らない人々や、私たちの主イエスの福音に従わない人々に罰を与えられます。

1:9 そのような者たちは、永遠の滅びという刑罰を受け、主の御前から、そして、その御力の栄光から退けられることとなります。



1:10 その日に主イエスは来て、ご自分の聖徒たちの間であがめられ、信じたすべての者たちの間で感嘆の的となられます。そうです、あなたがたに対する私たちの証しを、あなたがたは信じたのです。

1:11 こうしたことのため、私たちはいつも、あなたがたのために祈っています。どうか私たちの神が、あなたがたを召しにふさわしい者にし、また御力によって、善を求めあらゆる願いと、信仰から出た働きを実現してくださいように。

1:12 それは、私たちの神であり主であるイエス・キリストの恵みによって、私たちの主イエスの名があなたがたの間であがめられ、あなたがたも主において栄光を受けるためです。

「迫害と困難に耐えながら」信仰を守りとしているテサロニケ教会の人々に、パウロは「神に感謝」しつつ、この手紙を書いています。私たちも自分自身の在り方が感謝されるような歩みや働きをする者となりましょう。

この時代、主イエスへの信仰を持つことは、迫害困難を受けることを意味しますが、パウロは信仰を伝え、また守ることを勧めました。現代でも事なかれ主義のような風潮にあって、クリスチャンは困難の中でも主のために生きることを励まし合う者たちです。

なぜなら「主イエスが、炎の中に、力ある御使いたちを従えて天から現われる」からです。パウロがテサロニケ教会のクリスチャンに対して「あなたがたを苦しめる者には、報いとして苦しみを与え、苦しめられているあなたがたには、私たちとともに、報いとして安息を与えてくださる」という、厳かなわがが、主イエスの現れの際に実現すからです。

主イエスのために苦勞することは、決して犠牲

や被害者ではありません。それは地上にあっては祝福された生涯の扉であり、永遠においては絶大なる報への希望なのです。パウロには愛があるので、そのような生き方を勧めています。

主のために生きる人は「主において栄光を受ける」のです。主イエスの再臨と共に、そのことを信じましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

